

■導入支援/技術支援サービス

導入支援サービスは、通常現地で実施する各種ハードウェア設定などをあらかじめ工場内で事前構築するサービスです。また、お客様の構築作業を豊富な専門知識と経験を持つ技術者が実施する技術支援サービスも用意しています。お客さまは安心して業務の実装に注力できます。

HP-UXインストール設定	バックアップメディア作成
RAID設定	LAN/FCスイッチモジュール設定
nPartitions設定	vPars and Integrity VM設定
iCAP/GiCAP設定	ラッキングソリューション
ハードウェア技術者支援	ファームウェア更新
プログラム移行診断	予兆診断/特別点検

導入支援 技術支援

■サポートサービス(日立サポート360)

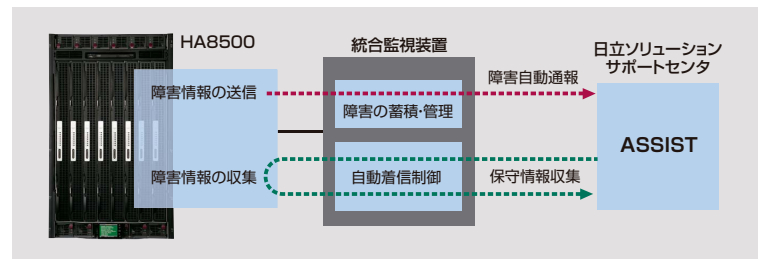
部門業務サーバから基幹システムまで、お客さまのシステム規模や重要度に応じて選べる3つのサービスグレード(スーパープレミアム、プレミアム、スタンダード)を用意。サービス対応時間においても、深夜休日を問わず稼働し続けるシステム向けの「24時間週7日対応」と、平日日中に稼働するシステム向けの「平日*8:00~19:00対応」の2種類を用意。お客さまのシステム環境に応じて、サービスグレード、サービス対応時間、オプションメニューを自由に組み合わせることができます。

スーパープレミアム	アカウントオプション	予防保守の支援	ソフトウェアに対する対策目標の設定
プレミアム	特別体制配備	環境ヘルスチェック	
スタンダード	問題解決支援(Q&A)	問題解決支援(障害)	
	情報提供	改良版提供	
オプションサービス	プロブレムアナリシスノート提供	オンサイト資料採取サポート	

*平日とは月曜~金曜をいいます。ただし「国民の祝日に関する法律」で定められた休日、および日立が設定する年末年始の休日(12/29~翌年1/3)を除きます。

迅速な保守サービスを実現する遠隔保守支援システム「ASSIST」

ASSISTは、お客さまのシステムとサポートセンタを通信回線で結び、技術支援および情報支援を行うシステムです。障害を未然に防ぐため、常時お客さまのシステムを遠隔監視し、万一の場合には技術者が支援システムとデータベースを駆使して、短時間で的確なサービスを実施します。



ASSIST: Advanced Service Support Information System Technology

※本製品には、有寿命部品(HDDなど)が使用されています。長期間使用の場合には、定期的な保守による部品交換が必要になります。詳細については下記「製品情報サイト」をご覧ください。
 ※本製品のハードウェア保守サービス期限は、製品納入時期より5年間です。
 ※本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。

・HITACHI、HIRDB、JP1は、株式会社日立製作所の登録商標です。
 ・Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Insideロゴ、Itanium、Itanium Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
 ・OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
 ・SAP、R/3、および本書に記載されたその他のSAP製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP AGの商標または登録商標です。
 ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

PC、サーバの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意
 OS上でのファイル削除やHDDのフォーマットだけではデータは完全に消去できません。特殊な復旧ソフトウェアなどで読み取られる可能性があります。データを消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を使用するか、HDDを金づちや強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読めなくすることをお勧めします。



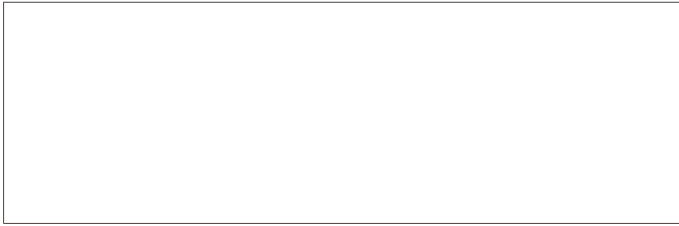
私たちは株式会社日立製作所 システム&サービスビジネスとして環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO(国際標準化機構)14001の審査を受け、登録され、製品・サービスのライフサイクル全般における環境問題に積極的に取り組んでいます。
 登録番号:EC02J0400 登録日:1995年7月19日
<http://www.hitachi.co.jp/it-iso14001/>

安全に関するご注意 **ご使用前に必ず製品添付のマニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

●カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。また、製品写真は出荷時のものと異なる場合があります。
 ●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
 なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/ha8500/>
- インターネットでのお問い合わせ
<http://www.hitachi.co.jp/ha8500-inq/>
- 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ
 ☎ 0120-2580-12 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)



株式会社日立製作所 ICT事業統括本部 サービスプラットフォーム事業本部

CA-818V 2016.6
 Printed in Japan(H)

日立アドバンスサーバ
 HA8500シリーズ

HITACHI
 Inspire the Next



ミッションクリティカルを支え、ビジネスを躍動させる力。
HA8500series



急激なビジネスの変化への対応とシステムの安定稼働。 すべては、ビジネスの競争力を高めるために。

ミッションクリティカルな業務を支える高信頼性と高可用性。

効率的なサーバ統合やビジネスの成長に応じた柔軟な拡張性を実現する先進の仮想化機能。

そして、長期間にわたって安心して使える確かなサポート。

長年にわたる豊富な実績に基づく高度な技術とノウハウを投入したHA8500シリーズは、

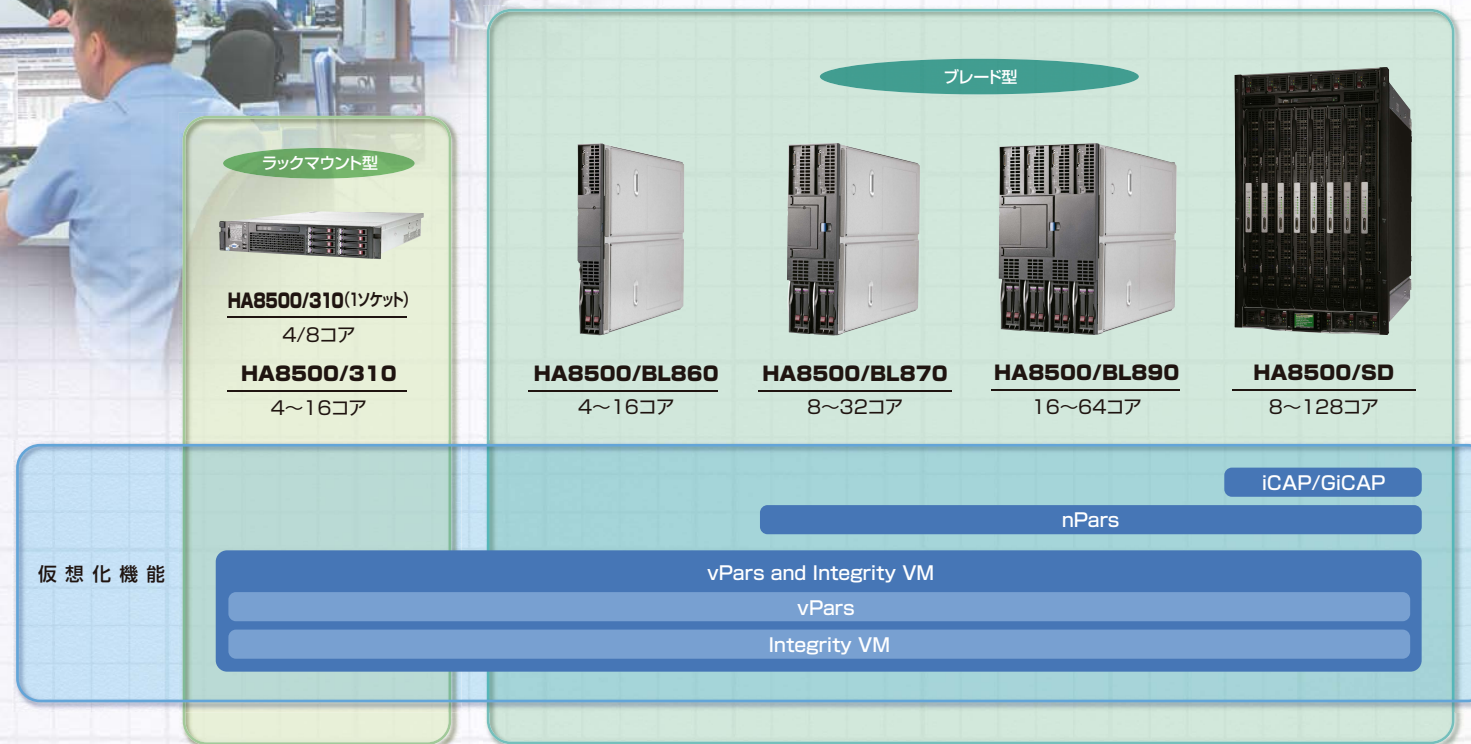
システムのさらなる安定稼働を実現し、サーバの集約化によるTCO削減に貢献、お客さまのビジネスを力強く支えます。

また、ハイエンドモデルからエントリーモデルまで多様なニーズに応えるラインアップを用意。

進化したHA8500がお客さまのビジネス競争力をさらに高めます。

TCO : Total Cost of Ownership

●業務データ量や処理形態に応じて選べる充実のモデルラインアップ●



高い処理性能を持つ最新の インテル® Itanium® プロセッサ

マイクロアーキテクチャを一新し、チップあたりのコア数を8コアに倍増したインテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーを採用。動作周波数を最大46%^{*1}、メモリー帯域幅を33%^{*1}向上することで、3倍^{*1}の性能向上を実現しました。

*1 インテル® Itanium® プロセッサ9300番台搭載モデル比

ダウンタイムを最小化する高信頼化・高可用性機能

HA8500ではプロセッサレベルからシステム全体にわたり信頼性・可用性を高める技術・機能を採用しています。

■インテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーは、命令実行中にエラーが発生したことを検知すると、自動的に命令を再実行してシステム停止を回避できます。

■プロセッサに内蔵するメモリー保護機能「SDDC/DDDC」により、同一メモリーモジュール内のDRAM素子が最大2個故障しても自動的に訂正する機能を備えています。

■SDモデルでは、I/Oカードをオンライン中に交換することが可能で、可用性が高まります。

■電源、ファン、Onboard Administrator、SDモデルのクロスバーチップなど、主要部品をモジュール化し、冗長構成が可能。万一、1つのモジュールに障害が発生しても処理を継続できます。

最適なリソースの割り当てを実現する仮想化機能

マルチコア化が進むプロセッサを有効活用する仮想化機能に期待が高まる中、ミッションクリティカル業務で実績のあるHA8500の仮想化機能をさらに充実。最適なリソースの配分によりコスト低減に寄与します。

■ハードウェアパーティション (nPars) を、SDモデルに加えてBL870、BL890モデルでもサポート。電気的に分離する信頼性の高いパーティション技術をミッドレンジクラスでも利用できます。

■ソフトウェアパーティション (vPars and Integrity VM) ではvParsとIntegrity VMの2種類の機能をサポート。vParsはプロセッサを占有し、仮想化に伴うオーバーヘッドの少ない仮想化環境を実現できます。一方、Integrity VMは、プロセッサを共有し同時に多くの処理を行える業務集約率の高い環境を構築できます。また、vParsとIntegrity VMは、システムの再構築なしで容易に切り替えることができるので、求められる性能、信頼性などの変化に合わせて、柔軟なシステム運用が可能です。

■SDモデルではインスタントキャパシティ機能 (iCAP/GiCAP) を提供。初期投資を抑えながら必要な時に必要なだけのパフォーマンスを提供することが可能です。また、GiCAPによりHAクラスタやDR (ディザスタリカバリ) サイトの冗長構成を低コストで構築することができます。

省電力・省エネへの対応

インテル® Itanium® プロセッサ9500製品ファミリーでは、プロセッサあたりの消費電力を低減。メモリーには低電圧版DIMMを採用し、システムで21%^{*2}の省電力化を実現しています。また、電力損失を半減し、業界最高クラスの変換効率94%^{*3}を超える、80PLUS® PLATINUM認証を取得した電源を採用しています。さらにブレード型サーバでは、ダイナミックパワーセーバー機能により、電源単体の最大限の効率を引き出すように電力量に応じて使用する電源の数を調整します。

*2 インテル® Itanium® プロセッサ9300番台搭載モデル比
*3 HA8500/310の電源負荷率50%時

操作性に優れた管理環境の提供

統合管理環境「HP Systems Insight Manager (SIM)」と体系的に整備された多様な管理ツール群により、わかりやすいGUIを用いた容易な操作で障害監視、構成およびワークロード管理などが可能。さらに、ブレード型モデルに搭載する管理ツール「Onboard Administrator」では、内部環境 (温度・電圧) の監視やサーバブレード、電源・ファンの状態監視、制御を行い、エンクローチャ内の各部品の効率的な管理を実現します。

10年安心して利用できるミッションクリティカル向け オペレーティングシステム HP-UX

ミッションクリティカル分野で世界中に多くの実績を有するオペレーティングシステム「HP-UX 11i v3」が柔軟性、拡張性、管理性に富んだITプラットフォーム環境を提供。販売開始後10年以上の長期サポートにより、将来に向けて安心してご利用いただけます。さらに、継続的な機能エンハンスも実施します。

多彩なソフトウェアに対応

ミッションクリティカルな業務を支えるハイアベイラビリティ (HA) ソフトウェアServiceguardをはじめとするHP社製ミドルウェア、Oracle® やSAP® R/3® といったISV製品に加え、統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」やノンストップデータベース「HiRDB」など実績豊富な日立オープンミドルウェアを提供。日立独自の技術とノウハウで幅広いニーズに応えるシステムを構築できます。

充実の高信頼サポートサービスを提供

ハードウェア/ソフトウェアのお問い合わせ窓口を一本化したサポートサービス「日立サポート360」や、お客さまシステムを24時間遠隔監視する遠隔保守支援システム「ASSIST」を提供。日立の高信頼なサポートサービスでお客さまビジネスの継続性を高めます。

HA8500series

SDDC : Single Device Data Correction DDDC : Double Device Data Correction nPars : nPartitions vPars : Virtual Partitions iCAP : Instant Capacity GiCAP : Global iCAP
DR : Disaster Recovery DIMM : Dual Inline Memory Module GUI : Graphical User Interface ISV : Independent Software Vendor

エントリーからハイエンドまで、幅広い製品ラインアップからお客さまのニーズに適したモデルをお選びいただけます。

ラックマウント型

ブレード型

HA500/310 F7

省スペース性、プライスパフォーマンスを重視したエントリーサーバ

コンパクトな2Uの筐体に最大16コアのインテル® Itanium® プロセッサ、384GB(ギガバイト)のメモリー、最大6枚のPCI Expressアダプタを搭載可能。vPars and Integrity VMをサポートし、小規模な統合化システムを構築できます。また、搭載プロセッサ数が1個(最大8コア)のみの310F7(1ソケット)をラインアップ。これによりOracle Databaseの安価なライセンス*を活用したシステム構築が可能です。

1U:44.45mm

*Oracle Database Standard Edition One(バージョン12.1.0.1)、Real Application Clusters for Standard Editionを利用できます。Oracle Database 12.1.0.2以降をお使いいただく場合は、Oracle Database Standard Edition 2か、Oracle Database Enterprise Editionが必要です。



最大プロセッサ数：2/[1]
最大コア数：16/[8]

※[]は1ソケットモデルの場合

HA500/BL860 F7, BL870 F7, BL890 F7

ローエンドからミッドレンジクラスまでサポートするスケーラブルなブレード型サーバ

省スペース性に優れたブレード型サーバ。必要な業務量に応じて3種類のサーバを選択可能です。BL890では、最大64コアのインテル® Itanium® プロセッサを搭載し、大規模なSMP構成も可能。仮想化機能として、多くのミッションクリティカル分野で実績があるnParsをサポートし、vPars and Integrity VMとの組み合わせで、さまざまな規模のシステム統合に活用できます。

SMP : Symmetric Multiple Processor

HA500/BL860 F7



最大プロセッサ数：2
最大コア数：16
デバイスベイ占有数：1

HA500/BL870 F7



最大プロセッサ数：4
最大コア数：32
デバイスベイ占有数：2

HA500/BL890 F7



最大プロセッサ数：8
最大コア数：64
デバイスベイ占有数：4

エンクロージャ

c3000、c7000

システムの規模に応じて、ブレード型サーバを格納する2種類のエンクロージャを選択可能。内部環境(温度・電圧)の監視やサーバブレード、電源・ファンの状態監視、制御を行う管理ツール「Onboard Administrator」により、エンクロージャに搭載するサーバを統合管理できます。

c3000



デバイスベイ数：4

c7000



デバイスベイ数：8

HA500/SD F7

仮想化機能の活用によりTCOを削減可能なハイエンドブレードサーバ

最大128コアのインテル® Itanium® プロセッサを搭載。クロスバーアーキテクチャを採用して、SMPの高いスケーラビリティやI/Oの高い拡張性を実現。nPars/vPars/Integrity VM、インスタントキャパシティ(iCAP/GiCAP)など最先端の仮想化機能を駆使した柔軟で高信頼の仮想化環境を構築できます。また、HA500/SD E6モデルのブレードを混在して搭載可能*です。



セルブレード

最大プロセッサ数：16
最大コア数：128

*パーティションを分ける必要があります。

■HA500仕様

モデル名	310F7				BL860F7				BL870F7				BL890F7				SDF7 (8プロセッサ SMPモデル)		SDF7 (16プロセッサ SMPモデル)	
セット形名*	GVH310F7-□□□□□□□□ (GVH310F-□□□□□□□□)				GVHB86F7-□□□□□□□□				GVHB87F7-□□□□□□□□				GVHB89F7-□□□□□□□□				GVHSD1F7-□□□□□□□□		GVHSD2F7-□□□□□□□□	
プロセッサ	インテル® Itanium® プロセッサ-9520	インテル® Itanium® プロセッサ-9550	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560	インテル® Itanium® プロセッサ-9520	インテル® Itanium® プロセッサ-9550	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560	インテル® Itanium® プロセッサ-9520	インテル® Itanium® プロセッサ-9550	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560	インテル® Itanium® プロセッサ-9520	インテル® Itanium® プロセッサ-9550	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560	インテル® Itanium® プロセッサ-9540	インテル® Itanium® プロセッサ-9560
動作周波数	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	1.73GHz	2.40GHz	2.13GHz	2.53GHz	2.13GHz	2.53GHz	2.13GHz	2.53GHz
3次キャッシュメモリー容量	20MB	32MB	24MB	32MB	20MB	32MB	24MB	32MB	20MB	32MB	24MB	32MB	20MB	32MB	24MB	32MB	24MB	32MB	24MB	32MB
最大プロセッサ数 / コア数	2プロセッサ / 8コア [1プロセッサ / 4コア]		2プロセッサ / 16コア [1プロセッサ / 8コア]		2プロセッサ / 8コア		2プロセッサ / 16コア		4プロセッサ / 16コア		4プロセッサ / 32コア		8プロセッサ / 32コア		8プロセッサ / 64コア		8プロセッサ / 64コア × 2サーバ / 筐体		16プロセッサ / 128コア × 1サーバ / 筐体	
最大メモリー容量	384GB (16GB DIMM × 24) [192GB (16GB DIMM × 12)]				384GB (16GB DIMM × 24)				768GB (16GB DIMM × 48)				1,536GB (16GB DIMM × 96)				2,048GB (8GB DIMM × 256) [パーティションあたり最大1,024GB]		2,048GB (8GB DIMM × 256)	
最大内蔵ディスク容量	9.6TB (1.2TB × 2)				2.4TB (1.2TB × 2)				4.8TB (1.2TB × 4)				9.6TB (1.2TB × 8)				-		-	
最大I/Oスロット数	6 (PCIeアダプタ)				3 (PCIeメザニン)				6 (PCIeメザニン)				12 (PCIeメザニン)				48 (PCIeアダプタ)*2		96 (PCIeアダプタ)*2	
標準インタフェース	1000 BASE-T LAN × 4、管理用1000 BASE-T LAN × 1、管理用シリアル × 1、USB × 4*3				10ギガビットEthernet LAN × 4*4、管理用シリアル × 1*5、USB × 2*3*5				10ギガビット Ethernet LAN × 8*4、管理用シリアル × 1*5、USB × 2*3*5				10ギガビットEthernet LAN × 16*4、管理用シリアル × 1*5、USB × 2*3*5				10ギガビットEthernet LAN × 4(セルブレード単位)*5、USB × 2(セルブレード単位)*3*5 管理用1000 BASE-T LAN × 2、管理用シリアル × 2		-	
電源ユニット搭載数	標準1、最大2				-				-				-				標準6、最大12		12	
ファン搭載数	6				-				-				-				-		15	
外形寸法(W×D×H)mm / EIA規格ユニット数	482 × 692 × 89 / 2U				51.6 × 508.5 × 366.3				104.9 × 509.3 × 366.3				208.2 × 509.3 × 366.3				447 × 828 × 798 / 18U		-	
エンクロージャ内デバイスベイ占有数	-				1				2				4				-		-	
最大質量	30.0kg				12.1kg				24.1kg				48.1kg				-		31.4kg	
最大消費電力	800W (AC100V時)、1.2kW (AC200V時)				850W				1.7kW				3.4kW				-		8.82kW	
省エネ法に基づく表示 (2011年度規定)	C				C				C				D				E		E	
区分	C				C				C				D				E		E	
エネルギー消費効率*6	4.84	5.34	3.03	2.55	4.84	5.34	3.03	2.55	4.87	5.37	3.05	2.56	4.88	5.38	3.05	2.57	4.67	3.93	4.67	3.93
電源	AC100V / AC200V単相 (50 / 60Hz)				-				-				-				AC200V単相 (50 / 60Hz) / AC200V三相*7 (50 / 60Hz)		-	
VCCI基準*8	クラスA情報技術装置				-				-				-				クラスA情報技術装置		-	
動作環境条件	温度：5~35℃ / 湿度：15~80% (結露しないこと)				温度：10~35℃ / 湿度：15~80% (結露しないこと)				温度：10~35℃ / 湿度：15~80% (結露しないこと)				温度：10~35℃ / 湿度：15~80% (結露しないこと)				温度：15~32℃ / 湿度：20~80% (結露しないこと)		-	
サポートOS	HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3				HP-UX 11i v3		-	

■エンクロージャ仕様

モデル名	c3000	c7000
形名*	GV0C30□□-□□□□□□□□	GV0C70□□-□□□□□□□□
デバイスベイ数	4	8
BL860F7 最大搭載数	4	8
BL870F7 最大搭載数	2	4
BL890F7 最大搭載数	1	2
インターコネクティブ数	4	8
電源ユニット搭載数	標準 4、最大 6	標準 2、最大 6
ファン搭載数	6	標準 4、最大 10
外形寸法(W×D×H)mm / EIA規格ユニット数	485 × 835 × 265 / 6U	445 × 813 × 442 / 10U
質量	フル搭載時136.0kg(最大)	フル搭載時217.7kg(最大)
電源	AC200V単相 (50 / 60Hz)	
VCCI基準*8	クラスA情報技術装置	
動作環境条件	温度：10~35℃ / 湿度：15~80% (結露しないこと)	

※[]は1ソケットモデルの場合

- *1 各□には、装置の構成により異なる形名が入ります。
- *2 I/O拡張ユニット使用時の最大値です。
- *3 すべてのUSB機器について動作を保証するものではありません。
- *4 インターコネクティブの通信速度に依存します。
- *5 本体添付の専用ケーブルが必要です。
- *6 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能 (GTOPS)で除したものです。また、インテル® Itanium® プロセッサを搭載したサーバは省エネ法においてはRISCに区分されます。
- *7 オプションのPDU (Power Distribution Unit)が必要です。
- *8 一般財団法人 VCCI協会基準。

●ハードディスクなどの容量表記は、1kB=1,000バイトで計算した物理容量です。メモリーの容量表記などで用いる1KB=1,024バイトで計算した容量とは表記上同容量でも、実容量は少なくなります。

サーバ統合や柔軟な拡張性でTCO削減をもたらす 進化したHA8500/HP-UXの仮想化機能。

プロセッサのマルチコア化の進展に伴い、ITシステムのTCO削減に向けた、サーバの仮想化による複数システムの集約・統合の動きが加速しています。加えて、急激なビジネス環境の変化に対応するため、サーバの仮想化機能をもつ柔軟な拡張性への要求も高まっています。HA8500は高度な仮想化ソリューションとしてパーティショニング機能やインスタントキャパシティ機能を提供。オーバーヘッドの少ない、柔軟な仮想化環境を実現します。

nPartitions(nPars) 信頼性の高いパーティションの提供(ハードウェアパーティション) (対応モデル: HA8500/SD, BL890, BL870)

1筐体内をブレード単位で分割し、各パーティション間を電氣的に分離。1つのパーティションで生じた故障の影響を最小限に閉じ込めます。

vPars and HP Integrity Virtual Machines (vPars and Integrity VM)

リソースの柔軟な活用(ソフトウェアパーティション) (対応モデル: 全モデル)

従来から提供している仮想パーティション(vPars)と仮想マシン(VM)の機能を統合した、低オーバーヘッドと柔軟なリソース割り当てを兼ね備える仮想化ソフトウェア。プロセッサ、メモリー、I/O(ストレージ、ネットワーク)を仮想化することで、単一のnParsまたはサーバ内に、仮想サーバ(vParsまたはVM)を実現します。それぞれの仮想サーバで、OSを独立して動作させることができます。

vPars機能
プロセッサをコア単位に分割し、各パーティションで占有することにより、低オーバーヘッドなパーティション機能を提供します。また、コアの割り当てをOS動作中にvPars間で動的に変更することができます。

VM機能
プロセッサコアをVM間で共有して使用するため、限られたプロセッサリソースで仮想化環境を実現。オンラインVMマイグレーション機能(オプション)により、ゲストOSを稼働状態のまま別のサーバへ移行することができます。

vParsとVM共通機能
I/Oリソース(ストレージ、ネットワーク)の占有/共有を選択できます。占有する場合、Direct I/Oネットワーク機能やN_Port ID Virtualization(NPIV)機能によるダイレクトアクセスで、オーバーヘッドを小さくすることができます。また、I/Oリソースを共有する場合には、少ないI/Oスロットのサーバでも仮想化環境を構築可能。さらに、vParsとVMは、簡単な操作で切り替えることができるため、開発・テスト段階はVM、本番稼働はvParsを適用するなど、性能や信頼性、柔軟性に応じたシステム運用ができます。

VSP: Virtualization Services Platform

インスタントキャパシティ iCAP

必要な時に必要なだけのプロセッサリソースを活用 (対応モデル: HA8500/SD)

セルブレードとCPU利用権を別々に購入いただくことで、初期投資を抑えながら、必要な時に必要なだけのパフォーマンスを提供。CPU利用権はコア単位で割り当てることができ、1コアのパーティションを作ることも可能です。

合計の価格は同じ

グローバルインスタントキャパシティ GiCAP

HAクラスタ、DR構成のコスト削減(対応モデル: HA8500/SD)

複数のSD筐体間でCPU利用権を共有する機能。HAクラスタやDR構成など冗長性を求められるシステムのコスト削減が可能です。例えば、HAクラスタでアクティブなサーバからスタンバイしているサーバに切り替える際、アクティブなサーバのCPU利用権を引き継ぐことができます。

エンタープライズシステムを支える、高度な可用性と運用性。 さらに、安定したセキュリティを実現し、安心の長期サポートを提供。

ミッションクリティカル分野で多くの実績を持つHP-UX 11i v3が、セキュリティおよびスケーラビリティをさらに強化するとともに10年以上の長期サポートを提供します。さらに、vPars and Integrity VM、Virtual Partitionsなどの仮想化機能による柔軟なシステムリソース設定を実現。HP-UX 11i v3とインテル® Itanium® プロセッサ搭載サーバの組み合わせが、ミッションクリティカルなデータベース、意思決定支援システム、電子商取引、業務改革などさまざまなビジネスシーンを支えます。

製品体系

HP-UX 11i v3は多様なサービスの実装に向けて、用途ごとのプラットフォーム構築に適切なソフトウェアコンポーネントを組み合わせたオペレーティング環境(OE)を提供。OEはソフトウェアコンポーネント間の密接な統合、容易なライセンス管理、分かりやすいサポート契約、多数のコンポーネントの容易なインストールなど、オペレーティングシステム(OS)だけでは実現できない価値を提供します。

お客さまの用途にあわせて選択可能な4つのオペレーティング環境

標準的なソフトウェア

Base OE (BOE)

- 各種ネットワークドライバ
- システム管理機能 (Ignite-UX, Software Distributor など)
- JVM、Web Server Suite
- HP Directory Server
- Auto Port Aggregation (APA)
- Process Resource Manager (PRM) など

仮想サーバ環境を活用する際に適したソフトウェア

Virtual Server OE (VSE-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- MirrorDisk/UX
- Insight Dynamics-VSE Suite (gWLMまたはWLM、vPars and Integrity VMまたはvPars、Integrity VM Online Migration、Capacity Advisor、Virtualization Manager)
- Online JFS
- GlancePlus Pak
- EMS HA Monitors

高信頼なサーバ環境を構築する際に適したソフトウェア

High Availability OE (HA-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- MirrorDisk/UX
- Serviceguard
- Serviceguard Extension for RAC
- ECM Toolkit
- NFS Toolkit
- Online JFS
- GlancePlus Pak
- EMS HA Monitors

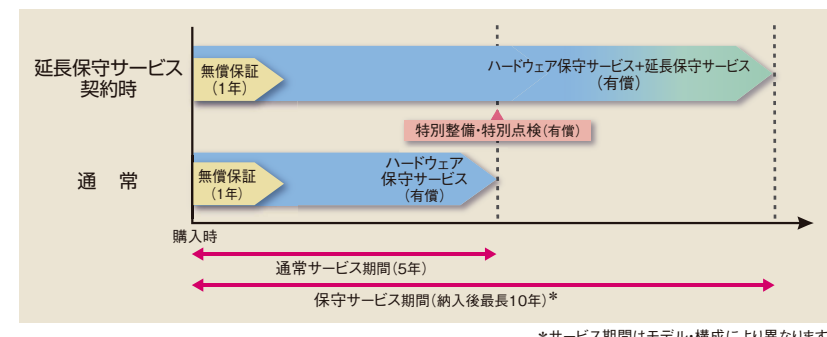
ミッションクリティカルなデータセンタに適したソフトウェア

Data Center OE (DC-OE)

- Base OEに含まれるソフトウェア
- High Availability OEに含まれるソフトウェア
- Virtual Server OEに含まれるソフトウェア

安心して長期間ご利用いただくための「HA8500延長保守サービス」

ハードウェアの保守サービス期間(製品納入後5年)を、最長10年*まで延長するサービス商品です。本サービスをご契約いただくと、通常保守サービス期間経過後もハードウェア保守サービスを提供。長期間の安定稼働を可能にすることで、システム更改回数を減らし、ハードウェア入れ替え費やシステム構築費を低減することができます。



*サービス期間はモデル・構成により異なります。